

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

施設名	岡山県津山陸上競技場
施設所在地	岡山県津山市志戸部245

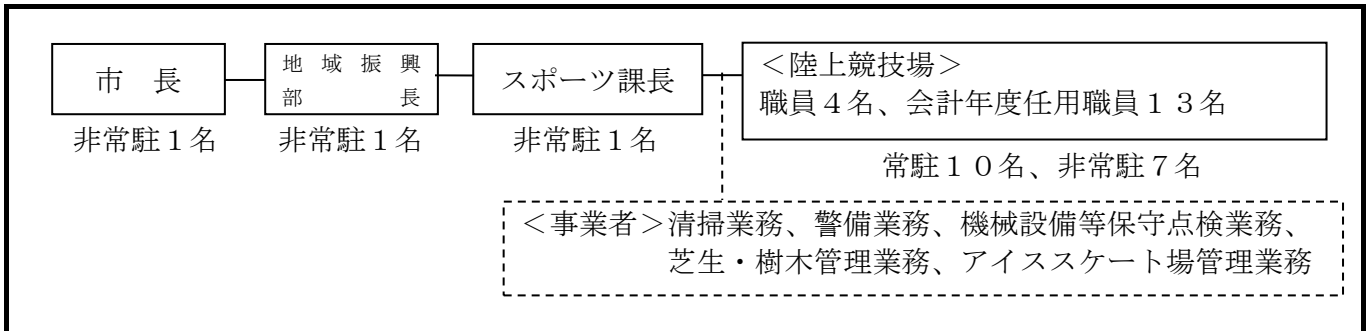
【指定管理者の概要】

名 称	津山市	代表者	津山市長 光井 聡
所在地	岡山県津山市山北520		

【指定管理の概要】

指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	報告期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
管理業務の内容	- 岡山県津山陸上競技場の施設及び設備の利用等の許可に関すること。 - 岡山県津山陸上競技場の施設及び設備の維持管理に関すること。 - 岡山県津山陸上競技場条例第2条に規定する業務（陸上競技その他スポーツの普及振興等）の実施に関すること。		

【管理体制の状況】



【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		主競技場	アイススケート場	多目的広場	合 計
許可件数	7年度	18,086	12,590	57	30,733
	6年度	14,786	12,242	50	27,078
	増 減	3,300	348	7	3,655

【維持管理の業務の実施の状況】

項 目	内 容
施設利用等の許可業務	- 主競技場：18,086件(35,006人) ・アイススケート場：12,590件(13,008人) ・多目的広場：57件(5,925人) - 合計：30,733件 (53,939人)
施設等の維持管理業務	- 施設等維持修繕 - 施設等保守点検 - 芝生管理 - 樹木管理 - 清掃 - 一般廃棄物処理 - 警備 - 駐車場管理
自主企画事業	・つやまスポーツフェスティバル（約3,000人）

【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

	主競技場	アイススケート場・広場	附属設備等使用料	合 計
収入額	1,963,990	3,004,570	6,633,176	11,601,736
利用件数	18,086	12,647		30,733
減 免 額	77,895	36,890	1,356,160	1,470,945
減免理由	身体障害、知的障害、精神障害、65歳以上、学校組織団体、仮設広告物、入場料加算 など			

指定管理者からの令和7年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		7年度	対前年度増減額	6年度	備 考
収 入 額 A		74,277,239	3,890,797	70,386,442	7年度収入額 ・その他の主なもの 自動販売機設置 収入 1,500,873円 キャッシュレス 決済手数料補填 10,465円
内 訳	指定管理料	5,000,000	0	5,000,000	
	利用料金収入	11,601,736	442,998	11,158,738	
	市町村負担金	56,058,910	3,889,566	52,169,344	
	その他	1,616,593	△441,767	2,058,360	
支 出 額 B		74,277,239	3,890,797	70,386,442	
内 訳	人件費	25,735,010	2,829,812	22,905,198	
	管理運営費	48,542,229	1,060,985	47,481,244	
	事業費	0	0	0	
	その他	0	0	0	
収 支 額 A－B		0	0	0	
県への納入金		0	0	0	
実質的な県負担額		5,010,465	592	5,009,873	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B	事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守 状況	B	関係法令に基づく義務は履行されていた。
	③安全性の確保	B	不具合箇所は適切に修繕するなど、安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な 管理	B	施設・設備・器具の点検修理や維持修繕は概ね適切に実施され、適切な管理が履行されていた。器具の片付けについて利用者にも分かりやすく写真を表示しており、工夫がなされていた。
導 入 効 果	①利用状況	B	R6年度は改修工事に伴い利用を停止する期間があったが、R7年度は停止期間が無かったため、利用者数が増加した。スケート場の情報発信にも努め、利用者増に繋げている。 (許可件数) R7：30,733件←R6：27,078件 (利用者数) R7：53,939人←R6：48,145人
	②収支状況	B	利用件数の増加に伴い、利用料収入が増加した。R6年度の照明設備LED化により、電気料金が削減された。
	③サービス向上	B	市HP、窓口において行事案内や施設紹介等を行い広報に努めていた。キャッシュレス決済により、利用者の利便性向上が図られた。
管理運営業務全般		B	HP等での広報やキャッシュレス決済等、サービス向上が図られ、協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施されていた。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

- A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。
C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。